

持続可能な地域社会の実現に

うみ
そら
だいち
ひと
みらい



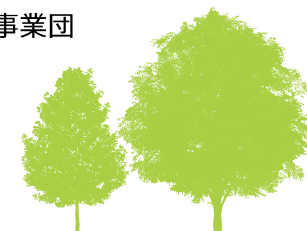
CORPORATE
PROFILE

🏠 ホームページ <https://www.kankyo.or.jp>



公益財団法人 岡山県環境保全事業団

発行日 2026年9月30日



わたしたちは環境関連事業を通して 社会の持続的発展に貢献します

私たち公益財団法人岡山県環境保全事業団は、岡山県内において、行政施策と協調し、環境保全のための各種事業に幅広く取り組んでいます。それにより快適で持続可能な地域社会の実現に貢献・寄与することで地域で最も必要とされる組織を目指します。

「持続可能な地域社会」の
実現に貢献・寄与する

4つの事業領域



理事長あいさつ

公益財団法人 岡山県環境保全事業団

理事長 吉田 光宏



岡山県環境保全事業団の事業運営につきましては、平素から格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

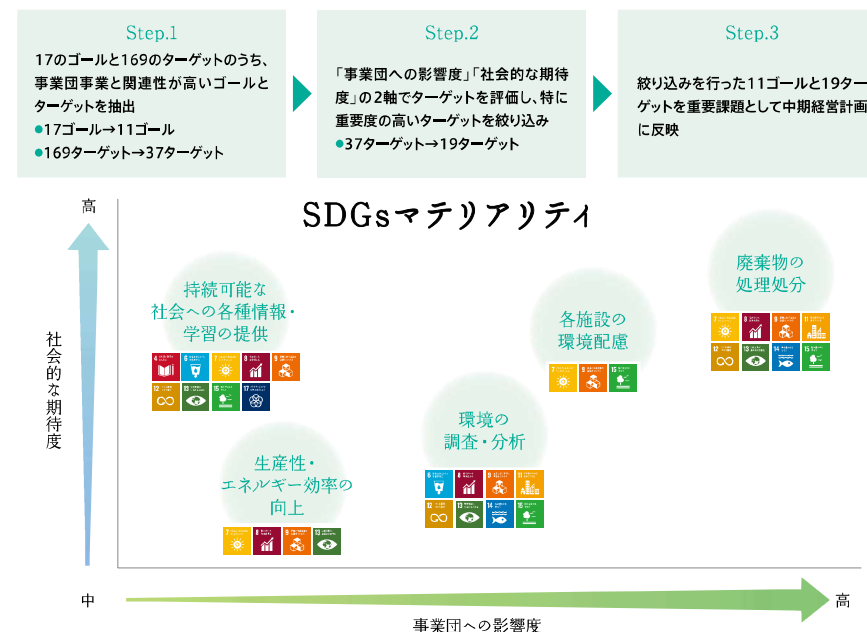
近年、気候変動の影響が顕在化する中、脱炭素の推進、資源循環の高度化、生物多様性の保全など、地域の持続的な発展と密接に関わる環境を守るために必要な取り組みは、より一層多様化・複雑化しております。

こうした状況の中、当事業団は、快適で持続可能な地域社会の実現を目的として、資源循環、各種調査・分析等の技術的支援、環境保全に関する普及啓発など、地域に根ざした環境に関する事業を幅広く展開してまいりました。

こうした事業展開を通じて、環境負荷の低減と循環型社会の形成に寄与するとともに、これからも県民、企業や自治体など地域の皆さまの課題解決を支える「信頼される環境パートナー」としての役割を果たしてまいります。

おかやまの豊かな自然と快適な生活環境を次世代へつなぐため、職員一同、専門性の向上と品質の確保に努め、時代の要請に応じたサービスの充実を図りながら、誠実に事業を展開してまいります。当事業団の事業に対して、引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

岡山県環境保全事業団が取り組むSDGs



資源循環型社会の形成

資源循環型社会の形成のために、廃棄物の適正処理と意識啓発を推進しています。

廃棄物処理処分事業

廃棄物の受け入れから処理処分まで、一貫した管理体制で厳しくチェックしています

水島事業所では、産業活動の円滑な推進、県民の生活環境の保全及び福祉の増進に寄与するため1979年度から廃棄物の埋立てを開始し、廃棄物の適正かつ安全な埋立事業（第1処分場・第2処分場）を行い、埋立てに伴い発生する浸出水は、高度な処理施設により適正に処理しています。また、埋立跡地には、水島クリーンセンター、みずしま資源再生センター、倉敷市資源選別所等の環境関連施設を整備・運営するとともに、事業所全体で、太陽光発電・風力発電・緑地整備にも取り組んでいます。



水島事業所全景

■ 廃棄物の受け入れから処理処分までの概要

1 受入審査

排出者から提出された申請書の審査（書類・現地）を行います。

2 搬入管理

廃棄物の計量、性状の目視検査、採取検査などを行います。

3 処理処分

適正かつ安全に処理処分します。

4 環境保全

浸出水、排ガス等は高度な処理施設により適正に処理しています。



水島管理事務所

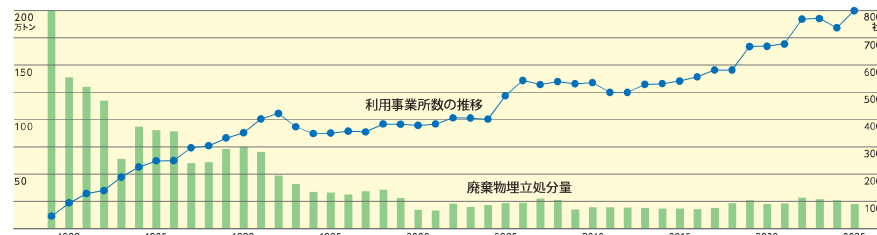


事業所内の太陽光発電、風力発電

水島埋立処分場

水島埋立処分場では、将来にわたる生活環境の保全と産業の発展を図るため、岡山県が策定した「公共関与臨海部新処分場基本構想」をもとに、公共関与による安全性、信頼性の高い産業廃棄物処分場としての管理運営を行っています。

■ 廃棄物埋立処分量と利用事業所数の推移



廃棄物埋立処分量は、廃棄物の発生抑制や再生利用といった企業努力等により、水島埋立処分場の運用開始当初と比較すると大幅に減少していますが、近年は産業活動の動向や災害廃棄物の受入れ等により増減し、18万t～28万t程度で推移しています。一方、利用事業所数は、運用開始当初から増加傾向となっており、近年は700を超える事業所にご利用いただいています。

施設概要		
施設の種類	管理型最終処分場	
設置場所	岡山県倉敷市水島川崎通地先	
名称	第1処分場(終了)	第2処分場
供用開始	1979年4月	2009年4月
埋立面積	約96万㎡	約23万㎡
埋立容積	約1,300万㎡	約460万㎡

水島クリーンセンター

資源の有効利用を考えた環境にやさしい施設です

下水汚泥と高力ローリーの廃プラスチック類等を混焼することにより廃棄物の減量化・安定化を図るとともに、燃焼に伴う熱エネルギーを電気に変え有効利用しています。さらに、環境負荷の小さい固形燃料（RDFやRPF）を使用することで、汚泥燃焼に係る化石燃料（灯油）を節約しています。また、発生する燃焼ガスは、排ガス処理施設により汚染物質を極力削減して大気に放出しています。



汚泥プラットホーム



廃プラスチック類ピット



旋回型流動床焼却炉

みずしま資源再生センター

焼却灰を土木資材等にリサイクルする施設です

燃え殻・ばいじん等の焼却灰を1,000℃以上の高温で焼成することにより有害物質を分解・無害化し、土木資材等にリサイクルする施設です。これまで埋立処分又は県外でリサイクルされていた焼却灰を県内でリサイクルすることで、廃棄物の遠距離運搬に伴う環境負荷の軽減や最終処分場の延命化にもつながります。



焼却灰



ロータリーキルン式焼成炉



焼成品（ハレスナ）

倉敷市資源選別所

倉敷市から管理運営を受託し、倉敷市の家庭から出された空きびん・蛍光管を資源として再利用するために手選別しています。



施設見学の受け入れ

廃棄物処理処分の流れを、グループ単位で見学することができます。安全かつ適正に処理するための取組を見ていただけます。

見学できる施設

・水島埋立処分場
・水島クリーンセンター
・倉敷市資源選別所

見学に関する問い合わせ先

水島事業所
〒712-8074 倉敷市水島川崎通1-18
TEL.086-440-0666 FAX.086-444-2933

その他の資源循環事業

廃棄物の処理処分を行うだけでなく、持続可能な地域社会を構築するため、資源の循環にむけた取組を行っています。

岡山県循環資源総合情報支援センター

2004年3月に岡山県の指定を受け、事業者や県民へ、廃棄物等の発生抑制・循環的な利用・適正処分、循環型社会形成に関する情報などをインターネット等により無料で発信しています。

「循環資源マッチングシステム」

循環資源（廃棄物）の提供事業者と利用事業者の情報を公開・マッチング（斡旋）し、有効利用を促進するシステム

「リサイクル情報システム」

リサイクルに関する技術・施設・製品の情報を提供するシステム

登録に関する問い合わせ先 岡山県循環資源総合情報支援センター 〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 TEL：086-298-1239、FAX：086-298-2496

良好な生活環境の確保

環境に関する総合調査機関として、安全で良好な生活環境の維持・創造の基礎となる環境関連サービスを提供しています。

環境調査

持続可能な地域社会を目指し、法令に基づく環境影響評価、生活環境アセスメント、土壌汚染状況調査など多岐にわたる環境調査を実施しています。

環境アセスメント

大規模な開発事業や廃棄物処理施設の設置等の際に必要な環境影響評価について、実施計画の策定から、現地調査、予測評価（数値シミュレーションなど）、環境保全対策の立案までを一貫して行っています。



土壌汚染調査

土壌汚染対策法に基づく指定調査機関として、法的又は自主的な調査計画の立案を行い、現地調査・試料の分析・調査報告書の作成等を行っています。

分析測定

岡山県で第1号となる計量証明事業登録所であり、公的役割を担う環境調査機関として培ってきた技術と経験をもとに、信頼と品質を第一に、年間約8,000検体を超える分析依頼に応えています。

廃棄物分析

産業廃棄物の適正な処理処分が実施されるように、豊富な経験と技術をもとに、カドミウムや鉛をはじめPCBといった有害物質の分析を行っています。

水質分析

河川・湖沼・海域等の環境水や事業場等の排水について、窒素、リン、油分や有害物質などの水質分析を行い、各種基準に適合しているか否かを試験しています。

騒音・振動測定

事業場・建設作業・道路交通等から発生する騒音・振動について、調査目的や現場の状況に合った調査方法を立案し、正確な測定結果を提供しています。

その他各種分析測定

近年話題となっているPFOSやPFOA、コンデンサ等に含まれる絶縁油中の低濃度PCBなどを始め、肥料や石灰、土壌分析など、多様なニーズに応えるため、公定法に基づき各種分析測定を行っています。



自然共生社会の形成

優れた自然環境の保全や身近な自然の保護保全、生物多様性の確保、緑の保全創出を行っています。

生物調査

岡山県の自然環境を隅々まで熟知した専門スタッフが、野生動植物等の生息生育情報をきめ細かく調査し、貴重種のモニタリングや、環境アセスメント等における確度の高い影響予測と保全対策の立案を行っています。また、自然環境関連事業として、希少種の保護対策やビオトープ管理、県内レッドデータブックの作成支援等を行っています。



環境緑化

緑豊かな地域環境は、私たちが快適に暮らし続けるため、持続可能な地域づくりに欠かせないものであります。近年社会問題として、生物多様性や自然との共生などが挙げられますが、様々な社会ニーズに対応していくため、環境緑化コンサルタントを行っています。



岡山県自然保護センター管理運営

「岡山県自然保護センター」の指定管理者として、自然とのふれあいを通じて、県民の自然への理解を深め、自然保護についての認識を高めることを目的に管理・運営を行っています。自然体験のできるフィールドや、生物調査で培った専門的な知識を生かし、普及啓発、フィールド整備、タンチョウ飼育、調査研究などに取り組んでいます。こうした取組が評価され、2025年9月16日には環境省の「自然共生サイト」に認定されました。引き続き、緑豊かな里山環境の保全や維持を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しています。

普及啓発（イベント、講座）

敷地面積100haに広がる豊かな里山の自然を生かし、四季折々に応じた多様なイベントを行っています。多くの方が楽しめるように工夫した体験型の企画展示や、自然への理解をより深めることのできる講座を開催しています。



フィールド整備・タンチョウ飼育

センターには虫の原っぱ、湿生植物園、昆虫の森、野草園などの多様な自然があります。この里山の自然豊かな多様性を維持するために、フィールド整備を行っています。また、国の特別天然記念物であるタンチョウの飼育を行っています。



地球環境の保全

環境学習事業を中心に、広く環境の大切さや、それを守る方法を伝え、人材の育成などを行っています。

環境学習

将来世に今以上の豊かな地球環境、地域環境を残すことを使命に、環境学習事業では、年間約350件の出前講座実施やイベント、セミナー開催など積極的な活動を行っています。



■ 出前講座（講師の派遣）

岡山県との協働のもと、地球温暖化や身近な環境保全を中心に、小中学校や地域団体などに対し、様々な啓発活動を行っています。また、多様な環境学習のニーズに対応するために、環境学習指導者養成講座を実施したり、NPO等の環境団体との協働により、積極的に環境学習出前講座の講師派遣を行っています。



■ イベント・学習会

物作りや体験型のイベントや学習会を行っています。これらは、「見て、触れて、感じて」をコンセプトに企画しており、多くの方が環境について考え、行動に移すためのきっかけづくりとなるよう実施しています。



■ 環境学習教材貸出

自転車発電、太陽光発電パネル・蓄電池、紙すきセット、環境啓発パネルなど環境学習に使える教材や資料の貸出を行っています。



■ 環境セミナー

地球温暖化防止・環境問題等の普及啓発を図ることを目的に、環境に関する最新の情報を提供しています。



■ 環境情報等の提供・発信

環境に関する情報を分かりやすく、楽しく読んでいただけるように編集した冊子「環境」を年4回（春、夏、秋、冬）発行しています。（購読無料、要申込）



環境学習プラザ「アスエコ」

● 学べる地球儀 スフィア

地球の過去、現在、未来の統計データやリアルタイムの観測データを映し出す最新型デジタル地球儀。地球温暖化の未来予測やSDGsの実現につながる学びなど多くのコンテンツがあります。



環境学習プラザ「アスエコ」は、(公財)岡山県環境保全事業団が環境の大切さを多くの方と一緒に考えていくために設置した、子供から大人まで楽しく学べる環境学習施設です。「学べる地球儀（スフィア）」を導入しているほか、親子で楽しめる展示や体験プログラムで、様々な環境についての情報を提供しています。

● 企画展示

- ・岡山の淡水魚を集めたミニ水族館
- ・炭素社会の実現に向けた様々な取り組み紹介
- ・エシカル消費につながるエコ商品紹介

● 情報発信

- ・県内の環境情報やイベント情報
- ・環境に関する図書コーナー、チラシ設置 など



SDGsの啓発

SDGsに関する情報の提供やプログラム開発、講座の実施も行っています。

■ 講師派遣、出前授業

■ プログラム開発

■ 自治体向け 中間支援



岡山県地球温暖化防止活動推進センター運営

2002年5月30日に県知事の指定を受け、岡山県地球温暖化防止活動推進センターの運営を行っています。



■ 啓発・広報、活動支援

各地で開催される環境イベントで、地球温暖化防止活動推進員と共に環境保全の大切さを訴えています。また、推進員に対して啓発資料の提供や研修会の開催などの活動支援を行っています。

エコアクション21中核地域事務局

エコアクション21の認定・登録の支援を通じて、事業者の皆様が環境活動普及に取り組んでいます。

エコアクション21とは

環境省の「エコアクション21ガイドライン」に基づいて環境経営のしくみを構築・運用している事業者を認定・登録する制度です。登録事業者の9割が100人以下の事業者で、中小事業者にも取り組みやすいしくみとなっています。全国で約7,500社、県内では109社の事業者がエコアクション21に取り組んでいます。

■ エコアクション21認定・登録業務

地域におけるエコアクション21制度の認証・登録に係る業務を実施します。審査申込の受付や、審査員の選任、環境に関する専門家や学識者による判定委員会を開催し、認証登録の可否を判定します。

■ エコアクション21制度の普及啓発

普及啓発セミナーや企業交流会の開催、自治体への働きかけを行い、エコアクション21制度の普及や支援を行っています。

■ 相談受付

エコアクション21に関する相談を受け付けています。



経営者や担当者が意見交換を行った企業交流会

Q.エコアクション21の特徴は？

エコアクション21はISO14001と比較して、認証・登録費用が安価であること、審査の際にはガイドラインへの適合性だけでなく、審査員の指導やアドバイスを受けられることが特徴として挙げられます。

Q.エコアクション21の導入効果は？

SDGsに 貢献できる	脱炭素の取組に つながる	経営事項審査等の 加点となる
自社PRになる	コストダウンに つながる	優良産廃処理業者 条件を満たせる
SDGsの取組等 アドバイスもらえる	事業継続性が 高まる	人材採用面で 有利になる

津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ運営

津山市内に整備された津山圏域クリーンセンター（ごみ焼却・リサイクル処理施設）管理棟内に、環境学習の拠点として設けられた津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザの管理・運営を受託しています。リサイクルプラザでは、持続可能な社会の構築に必要な“人”の育成をコンセプトに、資源の有効活用やごみの減量化、リサイクルの推進に関する普及啓発や各種環境学習の推進など様々な活動を行っています。

リユースコーナー

圏域内のご家庭にある使わなくなった家具や衣類などを譲り受け、修理工房で、清掃、点検した後にリユース品として提供、販売しています。



環境学習・体験イベント

施設では、リサイクルに関して学ぶことができた、夏のエコイベントや秋のリサイクルフェアなどの各種イベントを実施しています。



施設見学

ごみ処理施設を見学し、私たちの出したごみかどのように処理されているのか、資源ごみが分別されている様子などを見て、知っていただくことで、環境について考える機会を提供しています。



事業団概要

概要

■ 出捐状況	地方自治体 6 企業 45 企業組合等 5	■ 役職員数	評議員 14名 理事 9名 監事 3名 職員 123名 (2026年9月1日現在)
■ 出捐総額	16億2,650万円		

沿革

1974年3月26日(昭和49年)	事業団設立準備委員会発足(岡山県環境部内)
1974年10月1日(昭和49年)	財団法人岡山県環境保全事業団設立 事務所を岡山商工会議所ビル内に置く 緑化事業・環境保全サービス事業開始 環境調査事業開始(株式会社クラレ倉敷工場・同中央研究所内)
1975年3月1日(昭和50年)	大気環境測定機器保守管理業務開始(岡山県公害防止センター内)
1976年1月17日(昭和51年)	計量証明事業所登録(濃度、騒音、振動、岡山県第1号)
1979年4月2日(昭和54年)	水島管理事務所発足 産業廃棄物埋立処分場供用開始(第1処分場) 事務所を岡山市内尾に新築し、全部門を統合
1983年10月1日(昭和58年)	下水汚泥中間処理事業開始(セメント固化事業)
1984年3月16日(昭和59年)	第1処分場第1工区埋立竣工(254,580㎡)
1986年10月22日(昭和61年)	奇島干拓地整備事業開始
1987年8月1日(昭和62年)	奇島干拓地埋立処分場開始
1988年11月16日(昭和63年)	下水汚泥新中間処理場完成(セメント固化事業)
1989年11月24日(平成元年)	第1処分場第2工区埋立竣工(342,000㎡)
1993年9月24日(平成5年)	公共建設残土センター事業開始
1995年2月24日(平成7年)	倉敷市資源選別所の管理運営を開始
1996年4月1日(平成8年)	奇島干拓地埋立処分場終了
1998年9月30日(平成10年)	下水汚泥中間処理事業終了(セメント固化事業)
1999年3月31日(平成11年)	水島クリーンセンター供用開始(下水汚泥等焼却事業)
1999年4月1日(平成11年)	岡山県地球温暖化防止活動推進センターに指定
2002年5月30日(平成14年)	土壌汚染対策法に基づく指定調査機関に指定
2003年8月8日(平成15年)	岡山県循環資源総合情報支援センターに指定
2004年3月26日(平成16年)	岡山県自然保護センターの管理運営を開始
2007年4月1日(平成19年)	岡山市街地に環境学習センター「アスエコ」をオープン
2007年6月1日(平成19年)	公共関与臨海部新処分場供用開始(第2処分場)
2009年4月1日(平成21年)	優良産廃処理業者に認定
2011年11月25日(平成23年)	公益財団法人へ移行
2012年4月1日(平成24年)	第1処分場第3工区埋立竣工(366,003㎡)
2013年5月7日(平成25年)	エコアクション21地域事務局に認定
2015年3月11日(平成27年)	津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザの管理運営を開始
2016年4月1日(平成28年)	エコアクション21中核地域事務局に認定
2020年4月1日(令和2年)	イオンモール岡山に環境学習プラザ「アスエコ」を移転オープン
2023年5月27日(令和5年)	みずしま資源再生センター供用開始(焼却灰資源化事業)
2023年10月1日(令和5年)	公共建設残土センター事業終了
2024年3月31日(令和6年)	

認証取得・指定

エコアクション21(環境マネジメントシステム) 認証取得

2017年9月にエコアクション21の認証を取得しました。エコアクション21は、環境リスクの低減及び環境への貢献と経営の両立をめざすマネジメントシステムの国内規格です。



ISO/IEC 17025認定取得

2009年6月に環境調査分析部は、「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」におけるISO/IEC 17025の認定を受けました。ISO/IEC 17025は、試験所又は校正機関の能力に関する一般要求事項を規定した国際規格です。



試験所: 公益財団法人岡山県環境保全事業団 環境調査分析部 認定範囲: 化学試験・産業廃棄物分析(廃棄物中に含まれる金属等の検定方法) C=JIS K 0102 55.3(2016)・P=JIS K 0102 54.3(2016)・Se=JIS K 0102 67.3(2016)

「岡山県自然保護センター」指定管理

「指定管理者制度」に基づき、2007年4月から「岡山県自然保護センター」の管理運営を行っています。

優良産廃処理業者認定

2011年11月から「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物処理業の優良基準に適合していることの認定を受けています。

土壌汚染対策法に基づく指定調査機関

土壌汚染対策法に基づき、2003年から土壌汚染の法定調査を行うことのできる機関として指定を受けています。

「岡山県地球温暖化防止活動推進センター」指定

「地球温暖化対策の推進に関する法律(1998年制定)」に基づき、岡山県知事から2002年5月に「岡山県地球温暖化防止活動推進センター」の指定を受けました。センターは地球温暖化の防止に取り組む県民の皆さんを支援します。

「岡山県循環資源総合情報支援センター」指定

「岡山県循環型社会形成推進条例」に基づき、2004年3月に「岡山県循環資源総合情報支援センター」の指定を受けました。センターは、循環資源に関する情報を提供し、循環型社会の形成を支援します。

「エコアクション21中核地域事務局」認定

2020年4月にエコアクション21中央事務局(一般財団法人持続性推進機構)からエコアクション21中核地域事務局の認定を受けました。地域事務局として、事業者の皆様様の環境活動への取組を支援します。



公益財団法人 岡山県環境保全事業団

内尾事務所

〒701-0212
岡山県岡山市南区内尾665-1

代表	TEL 086-298-2122 FAX 086-298-2496
環境創造部	TEL 086-298-1239 FAX 086-298-2496
資源循環事業部	TEL 086-298-2123 FAX 086-298-2496
環境調査分析部	TEL 086-298-2616 FAX 086-298-2617

水島事業所

〒712-8074
岡山県倉敷市水島川崎通1-18
TEL 086-440-0666
FAX 086-444-2933

資源選別所	TEL 086-447-4850 FAX 086-444-4575
-------	--------------------------------------

津山圏域クリーンセンター
リサイクルプラザ
〒709-4611
岡山県津山市領家1446
TEL 0868-57-0153
FAX 0868-57-2226

岡山県自然保護センター
〒709-0524
岡山県和気郡和気町田賀730
TEL 0869-88-1190
FAX 0869-88-1195

環境学習プラザ「アスエコ」
〒700-0907
岡山県岡山市北区下石井1-2-1
イオンモール岡山6階
TEL 086-230-1333
FAX 086-230-1334